

『明るい社会を作るために』

小城市立砥川小学校 6年 ^{まるた}丸田 ^{せれん}晴蓮

私たち人間は、性格や体格・肌の色など違うことも多くあります。でも、同じ地球に生まれた人種であり違う所もそれぞれの個性として扱って皆が力を合わせて生活をしていると思っています。しかし、現実には難しいのが現状だと思う事も多いと思わされている。見た目や意見が違うだけで仲間はずれされてイジメられる人もいます。育つ環境が違う事で、非行にはしり悪さをしたり、自分の欲の為だけに、殺人を犯す人・何の落ち度もなく殺される人がいる。昔の日本もそうだったように、戦争を起こし互いに殺しあう事がある。お腹一杯食べれる人、その日の食べる事に困る人もいます。健康な人・障がいがある人、病気の人など色々な人がいるのが今の社会であり、同じ地球で生活している人間でもテレビやネットの情報で不公平な社会だと考えさせられます。

私が考える「明るい社会」とは、家族で家に住み、食事・お風呂に入れる事。誰しものが雨風を防げる場所を作る事で、皆が集まる場所となる。食事を皆で食べる事で楽しい時間も過ごせるし、お風呂も入れる事で清潔を保って病気になるリスクも減らす事が出来ると思います。また、周りに支えてくれる仲間が居る事で非行にはしってしまう人も減らせるのではないかと思います。他にも、障がいや人種・肌の色などの見た目で差別しない事もある。同じ人間であることは変わらないので見た目や考え方の違いで差別するのではなく互いに歩み寄る事で助け合える社会になるのではないかと思います。差別をなくす

事で自己の考えのみで行動する事が減り、イジメや犯罪などを起こす人が減るのではないかと思います。自分では「当たり前」だと思っている部分も多いですが、その「当たり前」の事が出来ていない社会だから、暗いニュースなどが多く聞かれており、今後も変える為に行動していく必要があると思います。

明るい未来を実現する為に行動をしている人たちもいます。非行や罪を犯した人たちに寄り添う「保護司」が居ます。保護司さんは、非行や罪を犯した人に更生を促しながら見守る事で相談相手になったりして社会復帰して2度と罪を犯さないようにする大事な存在だと思います。その反面で、私は今後無くならないといけない活動だと思います。保護司さんの活動は立派だと思いますが、罪を犯さずに過ごせる社会が一番だからです。そのためにも、一人一人が繋がり持つ事で、孤独にさせない社会を作る努力をしていく事が大切だと思います。

私の目指す「明るい社会」を実現させる為は今から自分に出来る事は何かと考えました。まずは絶対に差別を行わない事です。差別は、イジメに繋がってしまいます。また、他者と意見が合わない事で孤立してしまう事もあるので、互いにしっかりと話をする事で相手の事を理解する事を心がけたいと思います。コロナ感染も同じ事で誰しものが感染する可能性がある感染症で、自ら感染したくて感染したわけではない。キチンとした知識と対策を講じる事で偏見のない社会にもなるのではと思います。少しでも自分の考える「明るい社

会」を実現出来るように今後も心がけて行動をしていきたいと思ひます。